



2025年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年6月13日

上場会社名 モイ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5031 URL <https://about.moi.st/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤松 洋介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 入山 高光

TEL 03-3527-1471

四半期報告書提出予定日 2024年6月13日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第1四半期の業績 (2024年2月1日～2024年4月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期第1四半期	1,577	△1.7	45	△6.1	48	△4.9	44	5.9
2024年1月期第1四半期	1,604	△1.0	48	75.4	50	84.1	41	101.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期第1四半期	3.17	3.17
2024年1月期第1四半期	2.99	2.99

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年1月期第1四半期	3,698	1,888	51.1
2024年1月期	3,679	1,844	50.1

(参考) 自己資本 2025年1月期第1四半期 1,888百万円 2024年1月期 1,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年1月期	—				
2025年1月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年1月期の業績予想 (2024年2月1日～2025年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,251	△2.8	72	△49.4	85	△45.5	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年1月期1Q	13,966,000株	2024年1月期	13,966,000株
② 期末自己株式数	2025年1月期1Q	—株	2024年1月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年1月期1Q	13,966,000株	2024年1月期1Q	13,966,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けた社会経済活動の正常化がさらに一段進み、内需及びインバウンド需要が拡大する一方で、原材料・エネルギー価格の高騰や急激な為替相場の変動などの要因により、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、日本における2023年12月末時点の移動系通信の契約数は、2億1,888万回線（前年同期比5.4%増）と増加が続いております。（出所：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（令和5年度第3四半期（12月末）」）。また、当社がターゲットとする動画投稿・ライブ配信市場におきましても、グローバルSNSプラットフォームを中心に、ライブ配信サービスの利用者は増加傾向にあり、今後も市場は拡大していくことが予想されます。

このような事業環境のもと、当社では、ユーザー満足度の継続的な向上とプラットフォームのさらなる規模拡大を推進すべく、多くの施策を実施しました。

ユーザー満足度向上に向けては、TVアニメ放送20周年の『ケロロ軍曹』とのコラボイベントとして、TVアニメ全358話の6日間連続放送、劇場版アニメの日韓同時放送、「ツイキャス」で使える『ケロロ軍曹』スタンプの日本語・韓国語版のリリース、さらにはユーザー参加型コラボキャンペーンを開催し、多くのユーザーに参加いただきました。さらに季節に連動した限定アイテムキャンペーンや、松竹株式会社とのコラボレーションによる人気映画作品の無料配信などを実施しました。

プラットフォームの規模拡大においては、サブスク型配信者応援サービス「メンバーシップ」で、会員の誕生日にオーナーからメッセージが届く新機能やメンバーシップ会員限定スタンプのリリース、さらにはオーナー・会員限定で同時視聴可能なコンテンツとして人気アニメ映画『ゆるキャン△』を提供し新規ユーザー獲得に努めました。また、音楽レーベル「Moi Records」所属のVsinger 1名が新たにデビューしました。さらに、複数の配信者同士でライブ配信リレーが簡単に実現できる「バトン」機能の公開や機能改善を行い、当社がビジョンとして掲げる「心地よいコミュニケーション空間の創造」を目指したサービス開発、運用を推進してまいりました。

一方で、前期から継続する国内ライブ配信サービス市場における競争環境の変化の影響による減少傾向を回復するには至らず、当第1四半期累計期間においては、当社の重要指標である月間平均ポイントPU（Paid Userの略、課金ユーザー数）は73千（前年同期比4.5%減）、月間平均ポイントARPPU（Average Revenue Per Paid Userの略、課金ユーザー一人当たりの平均課金額）は6,509円（前年同期比0.6%減）となり、その結果、「ツイキャス」のポイント販売売上は1,426百万円（前年同期比4.8%減）となりました。また、実質売上総利益（当社が獲得する売上高合計から、収益化された配信者に対してお支払する報酬額と、Apple Inc.、Google Inc.等の決済代行業者に対して支払う手数料を差し引いた金額）については、「メンバーシップ」の売上が引き続き順調に成長したこと等の影響により423,868千円（前年同期比0.9%減）となりました。

以上を踏まえ、当第1四半期累計期間における実績は、売上高が1,577,106千円（前年同期比1.7%減）、営業利益は45,794千円（前年同期比6.1%減）、経常利益は48,401千円（前年同期比4.9%減）となり、四半期純利益は44,250千円（前年同期比5.9%増）となりました。

なお、当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載は省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における資産合計は3,698,344千円となり、前事業年度末に比べ18,692千円増加いたしました。

流動資産は3,309,624千円（前事業年度末比15,627千円増加）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加141,109千円、その他に含まれる前払費用の増加7,167千円、預け金の減少73,866千円、売掛金の減少58,839千円等によるものであります。

また、固定資産は388,719千円（前事業年度末比3,064千円増加）となりました。主な要因は、差入保証金の増加15,247千円、減価償却費の計上による工具、器具及び備品の減少12,155千円等によるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債合計は1,810,017千円となり、前事業年度末に比べ25,558千円減少いたしました。

流動負債は1,810,017千円（前事業年度末比25,558千円減少）となりました。主な要因は、チケット・コンテンツの売買代金及び「メンバーシップ」の会員費である預り金の増加16,890千円、取引先等への支払である未払金の増加6,588千円、販売したポイントの未利用残高である前受金の増加3,212千円、未払法人税等の増加3,675千円、

ユーザーへの支払報酬である買掛金の減少33,840千円、その他に含まれる未払消費税等の減少20,941千円等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,888,327千円となり、前事業年度末に比べ44,250千円増加いたしました。これは、四半期純利益44,250千円の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は51.1%（前事業年度末は50.1%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月期の業績予想につきましては、2024年3月13日公表の「2024年1月期決算短信」から変更はありません。今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年1月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,171,016	2,312,126
売掛金	988,642	929,803
預け金	89,855	15,988
棚卸資産	124	119
未収還付法人税等	17,933	17,933
その他	26,662	33,891
貸倒引当金	△237	△237
流動資産合計	3,293,997	3,309,624
固定資産		
有形固定資産	171,084	158,902
投資その他の資産		
差入保証金	105,692	120,939
繰延税金資産	108,877	108,877
投資その他の資産合計	214,570	229,817
固定資産合計	385,654	388,719
資産合計	3,679,652	3,698,344
負債の部		
流動負債		
買掛金	754,318	720,478
未払金	332,262	338,850
前受金	178,273	181,486
未払法人税等	711	4,387
預り金	511,230	528,121
その他	58,777	36,692
流動負債合計	1,835,575	1,810,017
負債合計	1,835,575	1,810,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,944,774	1,944,774
利益剰余金	△150,697	△106,446
株主資本合計	1,844,077	1,888,327
純資産合計	1,844,077	1,888,327
負債純資産合計	3,679,652	3,698,344

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)
売上高	1,604,932	1,577,106
売上原価	811,883	775,248
売上総利益	793,048	801,858
販売費及び一般管理費	744,264	756,063
営業利益	48,784	45,794
営業外収益		
受取利息	8	6
受取手数料	1,815	3,155
為替差益	206	—
雑収入	67	126
営業外収益合計	2,097	3,288
営業外費用		
為替差損	—	681
営業外費用合計	—	681
経常利益	50,882	48,401
税引前四半期純利益	50,882	48,401
法人税等	9,096	4,150
四半期純利益	41,785	44,250

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2023年2月1日 至 2023年4月30日）

当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間（自 2024年2月1日 至 2024年4月30日）

当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。